

留 学 報 告 書

記入日:2017年3月日

所属学部／研究科・学科／専攻	国際日本学部 国際日本学科
留学先国	アメリカ
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	和文: ニューヨーク州立大学ニューパルツ校 現地言語: State University of New York at New Paltz
留学期間	2016年8月～2016年12月
留学した時の学年	2年生(渡航した時の学年)
留学先での学年	1年生(留学先大学で在籍した学年)
留学先での所属学部等	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属しなかった。
帰国年月日	2017年1月20日
明治大学卒業予定年	2019年3月

留学費用項目	現地通貨 (USD)	円	備考
授業料		750,000円	
宿舍費		410,000円	
食費		250,000円	寮での食事代(1学期\$2,000)と外食費。
渡航旅費		200,000円	日本で事前に往復の航空券を購入しました。
その他		250,000円	生活費・旅行費等。
合計		約 1,860,000円	

滞在形態関連	
1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート, 大学の宿舎など)	
	大学の寮
2)部屋の形態	
	<input type="checkbox"/> 個室 OR <input checked="" type="checkbox"/> 相部屋(同居人数 4名)
3)住居を探した方法:	
	大学からの紹介
4)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)	
	寮によって新しさも部屋のタイプもかなり差がありますが基本的には自分で選べませんでした。私の寮は古かったですが、それほど不便でもなく、慣れると居心地が良かったです。食堂のすぐ隣という立地も便利でした。
現地情報	
1)現地で病院にかかったことはありますか? 大学内の医務室/診療所や付属病院等で医療サービスを受けることは可能でしたか?	
	<input type="checkbox"/> 利用する機会が無かった <input checked="" type="checkbox"/> 利用した:インフルエンザの予防接種を受けました。
2)学内外で問題があったときには誰に相談しましたか。留学先大学に相談窓口はありましたか。	
	財布を紛失した際に、留学生向けの支援事務室を尋ねました。
3)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?	
	大学付近で何か起こった際は大学からメールでお知らせが来ていたので、それを確認するようにしていました。犯罪を身近に感じることはほとんどありませんでした。
4)パソコン、携帯電話、インターネット(接続について)現地での利用はいかがでしたか。 (例:寮のインターネット接続が不安定で週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェではWiFi接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)	
	大学内の講義棟、食堂、寮など建物内であれば問題なくWi-Fiに繋ぐことが出来ました。
5)現地での資金調達はどのように行いましたか?(例:現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)	
	現地のATMで日本の銀行口座からお金を引き出せるように、渡航前に海外利用可能のキャッシュカードを作っていました。また、クレジットカードやプリペイドカードも併用していました。
6)現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えてください。	
	大体何でも揃いますが、洗顔料や化粧水等は使い慣れたものを持って行った方が良いと思います。
7)授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。(例:渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った、渡航前に留学先大学から指示があった、渡航後のオリエンテーションで支払いに関する案内があった等)	
	現地に到着後、大学からの案内があり、クレジットカードで支払いました。
卒業後の進路について	
留学を通して生じた、今後の進路についての考えについて教えてください。	
	未定です。

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)

1)留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
18 単位	<input checked="" type="checkbox"/> 10 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。	

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Intro to Sociology		社会学入門	
科目設置学部・研究科	社会学部		
履修期間	2016 秋学期		
単位数	3		
本学での単位認定状況	3単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に 75 分が 2 回		
担当教授	Brian Obach		
授業内容	社会学の基礎を学ぶ授業。社会学の歴史や研究方法の紹介の後、社会学で扱う様々な分野についてひと通り学ぶ。主にアメリカ社会での例をもとに政治、経済、文面等のそれぞれの課題を考える。授業内・オンラインでのディスカッションがある。		
試験・課題など	普段は数ページから 10 数ページの記事や読み物、教科書が予習として与えられる。それらを読んだ上で、ディスカッションに参加する。試験は中間と期末の 2 回。試験前に重要語句をまとめた復習用のプリントを配布してくれる。試験内容は短い記述問題が5問とエッセイ1つ。また、期末には 4~5 ページのレポート課題もある。		
感想を自由記入	授業についていくことや課題は簡単ではありませんでしたが、幅広い分野について学び、考える機会を持つことが出来たので履修して良かった、と思います。専門的な用語や分からなかった部分は教科書で復習したり、教授に質問をしたりしました。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Academic Reading & Writing		読解・英作文	
科目設置学部・研究科	ESL		
履修期間	2016 秋学期		
単位数	6		
本学での単位認定状況	3 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に 75 分が4回		
担当教授	Aiko Pletch		
授業内容			
試験・課題など			
感想を自由記入			

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Academic Listening & Speaking		英会話	
科目設置学部・研究科	ESL		
履修期間	1 学期間		

単位数	4
本学での単位認定状況	2 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 90 分が 3 回
担当教授	Kerri Bohringer
授業内容	
試験・課題など	
感想を自由記入	

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Academic Grammar		英文法	
科目設置学部・研究科	ESL		
履修期間	2016 秋学期		
単位数	4		
本学での単位認定状況	2 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に 100 分が 2 回		
担当教授	Lisa Lewis		
授業内容			
試験・課題など			
感想を自由記入			

2015年 1月～3月	
4月～7月	
8月～9月	TOEFL 受験に向けての勉強、留学先についての調査
10月～12月	TOEFL 受験、出願・選考
2016年 1月～3月	結果通知
4月～7月	航空券の購入、ビザ取得、留学前ガイダンス
8月～9月	出発(8/23)、現地でのガイダンス、始業(8/29)
10月～12月	中間試験(10月中旬)、期末試験(12月中旬)、終業(12/22)
2017年 1月～3月	帰国(1月下旬)、帰国後書類(帰国届・アンケート等)提出
4月～7月	
8月～9月	
10月～12月	

留学体験記

留学しようと決めた理由	興味のある分野を英語でより深く学びたいと思ったからです。またアメリカでの学生生活を通して語学力だけでなく、様々な人と対話するためのコミュニケーション能力も向上させたいとも考えていました。
留学のためにした準備、しておけば良かったと思う準備	オフィスアワーを利用したり、英語の本を読んだりしていましたが、より勉強をしておくべきだったと思いました。学習の際の専門的な単語や、日常会話で使うちょっとした単語、言い回しをもっと知っておきたかったです。また、自分の好きなものについて、もっと話せるようになっておけばよかったとも思いました。
この留学先を選んだ理由	学内に留学生が多いと聞き、多様な価値観に触れて刺激を受けることができるところだと思ったからです。また、新しい文化やアートの発信地であり、マイノリティーにも関心が高いニューヨークに所在している点も魅力的でした。
大学・学生の雰囲気	留学生が多く、アメリカはもちろん他の国の文化にも触れる機会がたくさんあります。現地の学生も他国からの留学生も、自由に学校生活を楽しんでいる雰囲気です。また、1年を通してキャンパス内で様々なイベントがあり、勉強面以外も充実しています。キャンパスは広く、自然がいっぱいで、季節の変化を感じることができる場所です。
寮の雰囲気	寮全体での交流活動はあまりありませんでしたが、寮生活をまとめる系の学生たちをはじめ、多くの寮生が気さくで、過ごしやすい環境でした。
交友関係	日本人の学生が多く、同じ授業を取っている人もいたため、日本人同士で集まることも多々ありました。しかし、クラスメイトやルームメイトと話したり、留学生を中心とした交流活動に参加したりするうちに徐々に交流の幅が広がっていきました。ときどき、家に遊びに行ったり、一緒に街に出かけたりすることもありました。
困ったこと、大変だったこと	私の不注意で携帯電話を水の中に落としてしまったり、財布をバスの中に置き忘れてしまったりしました。幸いどちらとも大事には至りませんでしたが、財布を探している際、忘れ物の問い合わせの電話を1本かけるだけでも時間がかかったので大変でした。
学習内容・勉強について	語学の授業であるESLのクラスは、エッセイを何本も書いたり、スピーチやプレゼンテーションをしたり、今後活かせる実践的な内容でした。私が選択していた社会学の授業は、社会を構成する幅広い分野について学ぶことが出来ました。ディスカッションやグループワークの時間は毎回緊張していましたし、なかなか参加するのが難しかったですが、そのような授業を受けることで学習へのモチベーションが上がりました。
課題・試験について	エッセイやスピーチ、オンライン上のディスカッションボードへの書き込みなど、多くの課題に取り組みました。どれも時間がかかりましたが、その分着実に力がついたと感じました。

大学外の活動について	アメリカで色々な美術館を見てみたいと思っていたので、滞在中に8つの美術館に足を運びました。また、ミュージカルを観たり、ゴスペルを聴いたりと芸術に触れる機会を持つことが出来ました。
留学を志す人へ	留学前も、留学中も上手くいかなかったり、取り組んでいることに自信を持てなくなったりするかもしれません。私自身、悩みましたが、同時に自分と向き合う良い時間にもなりました。その時間は無駄ではなかったと思います。色々なことを考え、悩みながらも行動することで充実した時間を過ごせるのではないのでしょうか。また、せつかなので文化や環境の違いを出来る限り楽しんでください。留学が良いものとなるように心から願っています。

一週間のスケジュール(例)

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
午前中	Intro to Sociology	Reading & Writing		Intro to Sociology	Reading & Writing	友人と街へ	
	Reading & Writing	Grammar	ランチ	Reading & Writing	Grammar	観光	ランチ
午後	昼食&課題	昼食&課題			昼食	昼食	
	Listening & Speaking	Listening & Speaking	課題や自習	Listening & Speaking		観光	課題や自習
夕刻	夕食	ジム	夕食		夕食	観光	夕食
夜	国際交流のクラブ	自習		国際交流のクラブ	友人と映画鑑賞など	帰宅	